

最終処分場の概要に係る住民説明会 三郷地域（住吉）

1. 日時 6月13日（土）午後7：30～
2. 場所 住吉公民館
3. 住民参加者 40名
4. 穂高広域施設組合 等々力、平田、曾根原、井上

[質疑概要]

事務局：配布資料の説明

[質問]

それぞれオープン型と被覆型の説明のところに、環境に関する項目がある。三郷にオープン型があるが、特に外部への生活環境が大きいというのは具体的に何を指すのですか？

[回答]

オープン型は完全に遮断されているわけではないので、カラスや多少の臭気はあるかもしれない。被覆型と比べて、オープン型の方が環境への影響があると言えるが、あくまで一般論であり、三郷の最終処分場と比較しているわけではない。

[質問]

外部への生活環境という、その中身はどういうことですか。あいまいな基準で比較されると「あそこにあるやつは何か悪いやつじゃないか」と言われそうです。

[回答]

これは一般論としてまとめられた資料であり、三郷の最終処分場のことを言っているわけではない。ご理解をいただきたい。例えば、ストーカー炉で焼却された灰には、完全燃焼しなかったごみ等が含まれるため、それらをオープン型の最終処分場に埋立てた場合は、それらが微生物等により分解され臭気が発生するなどが考えられる。なお、三郷の最終処分場については、有機物等が埋め立てられないため、臭気等は発生しない。

[質問]

三郷ではなくても、どこかで臭気等の問題があったからいっているだろうと思います。だからこういう言葉に気をつけなくてははいけません。

[回答]

オープン型と被覆型と比較するとこういうことが一般的に想定されるということである。

[質問] そういう状況がないのなら書かないほうがいいのでは。

[質問]

一般廃棄物最終処分場基本計画・基本事項のところの施設規模が、15,400 m³から 52,500 m³と約三倍の違いがあります。処分量は中間処理方式により異なり、熔融型というのはガス化熔融炉かプラズマか何かの熔融炉だと思いますが、これは付帯設備といっても何千度という温度を出す大掛かりな設備であり、費用の関係などで最終処分場以上の問題があると思います。住民に熔融炉の話が出てきたのはここ最近だと

と思いますが、何故今まで話さなかったのですか。

[回答]

一般廃棄物最終処分場の構想段階では、15年間を想定した施設規模と考えている。選択肢として熔融施設というものもありうるということで、処分量を15,400 m³から52,500 m³という数値を想定として出した。ガス化熔融施設には多額の費用がかかり、問題も多いということで、灰を少なくしてコンパクトな処分場にするよりも、規模は若干大きくなるけれども、ガス化熔融施設を作らずに現状の固化灰を埋め立てるという形で議論が進んでいる。ガス化熔融炉を積極的に取り入れるという方針ではない。

[質問]

候補地は3箇所あるが、明科あたりでは5年あまりでいっぱいになってしまいます。ガス化熔融炉を使って処分量15,400 m³にしないと、選択肢にもならない面積しかないと思いますが。

[回答]

明科は面積が若干狭いが、現在、当組合でお願いをしている民間の最終処分場では、非常に敷地面積の少ないところに深く掘って、容量を確保している施設がある。面積が少なければ15年の容量が確保できないということはない。条件を更に精査する為に、現在コンサル会社に、各候補地にはどのような建設方法があるか、立地的なイメージといったことを補足調査という形で調査を委託している。明科が52,500 m³では不可能ということはないと考えている。

[質問]

そうすると、現段階では熔融炉を横につけるという考えはなく、もしつける場合はゼロからまた話をすることになると思います。しかし、安曇野市の人たちは熔融炉について全く話を聞いていません。大丈夫でしょうか。

[回答]

基本計画を検討した際の選択肢の一つとして、熔融施設があればこれくらいの容量になると資料として載せている。ただし、熔融炉は新しい技術であり、それぞれ組合で熔融施設は見せてもらったが、技術的にもコストの面でも難しいので、この段階では熔融施設については考えていない。最終処分場についても、最初から52,500 m³、現状の処理方式の焼却灰の処理をするという方向で進めている。熔融については考えていない。

当組合は穂高の狐島地区にあり、昭和30年代から地元の皆さんの理解をいただき、ごみ処理施設、し尿処理施設を稼働させていただいている。現在の焼却施設は平成6年から稼働しており、将来更新ということも出てくる。区の皆様のご理解をいただき、次期の焼却施設もここで良いとご理解をいただいている。やはり地元の皆様に迷惑をかけないよう施設運営管理をしていくことが、次の施設の更新にもつながると考えている。最終処分場についても、地元の皆さんに迷惑のかからない、安心していただける施設を作っていくことが一番大事だと考え、整備を進めていく方針でいる。

[質問]

実際のコストというのはどれくらいなのか、建築費の見積もりは出ていますか。オープン型と被覆型の比較があるが、実際はどのくらいの差があるのでしょうか。

[回答]

費用は建設する土地等によって大きく変わる為、まだはっきりした工事費等については出していない。

これから最終候補地が絞り込まれた時、候補地に対するイニシャルコストは土地にあわせたものが出てくる。

[質問]

それでは、この比較の表はおかしいのではありませんか。比較の根拠がなく、恣意的に作られたとしか思えません。

[回答]

管理型最終処分場の選択肢を考えたとき、一般論としてはこのような比較になると考える。

[質問]

臭いが出るとかカラスが出ることはありますか。固化灰にカラスは来るのですか？

[回答]

固化灰にはカラスは来ない。飛灰というのは100%燃えきっている為、カラスが来たり虫が付いたりということは絶対にない。比較表にはオープン型・被覆型とあるが、全国に50施設あるという全体を見た比較であって、今の当組合で計画しているものの比較ではない。

[質問]

コストがわかりません。たとえば1億円かかるとなった場合、建てて、実際それが経費削減につながるのでしょうか。広域組合のお金がどこから出ているか分からないが、我々住民のものを使っている限りは考えなければいけません。

[回答]

現状では、自前のもを作るより、他の最終処分場へ委託としてお支払いの方が安い。建築費や維持管理といったものを含めると、組合独自のものを持つより委託の方が金銭的には有利。ただし、基本的に一般廃棄物は市町村が処理から最終処分までしなければならない。それに沿って近隣の松本市や塩尻市や大町市も、自治体が一般廃棄物の最終処分場を持っている。しかし、当組合は持っていない。自区内処理の原則によって計画をしている。

[質問]

概念は前からそうだったのでしょうか、何故今さら作るのですか。

[回答]

民間の最終処分場が将来にわたって確保できるかどうか分からない。当組合も平成10年から12年の頃、福井県の民間処分場をお願いしていたが、その当時の会社が倒産してしまった。それで福井県が行政代執行しているという例もある。民間ではこういうことがありうるので、当組合で責任を持って管理をしていくべきと考えている。

[質問]

朝日村と山形村にオープン型・被覆型が出来ているそうですが、そのときには賛成とか反対とかそういう意見はあったのでしょうか。

[回答]

地域の皆様との話し合いの中で理解を得て、建設運営をされていると考えている。計画段階から全てが

賛成ではなかったと思うが。

[質問]

今日の説明会が、どういう形で最終候補地の選定に組み込まれるのですか。

[回答]

本日の住民説明会は、最終処分場とはどんなものかを説明する機会として設けて頂いたものだが、今回の説明会で皆様から頂いた意見についても検討委員会に伝える。1月に行われた意見交換会の内容、それから補足調査も材料にして、検討委員会の中で一箇所に絞っていくことになるかと思う。

[質問]

そうすると、たとえば三田の皆さんがいやだと言え、できないのですか。

[回答]

同意の有無を考えた場合、やはりそうなる。地主さんから土地を売っていただけないなら、それ以上前には進まない。地元の皆様の同意もある程度必要になってくる。

[質問]

3箇所全部で反対されたらどうなりますか。

[回答]

最終候補地が決定したらその地区に入って、説明会等でご理解をいただくために努力をして参りたいと考えている。それ以降のことにつきましては今のところ、一箇所に決まったら何とかご協力をお願いしていくという形でご理解をいただきたい。

[質問]

一箇所に絞るといのはいつ頃になりますか。

[回答]

10月から11月ごろになると思われる。

[質問]

それまでの間に、それぞれの地域が不同意という発表がされた場合は？

[回答]

現状は三箇所の候補地の段階であり、最終候補地がどこになるかはこれからの問題となる。この段階で不同意等は考えられないかと思う。

[質問]

ごみの管理は1月にどれくらいやっているのですか。最近、道にいっぱい落ちている。

[回答]

当組合は組織市町村から燃えるごみとして収集されたごみの処理を行っている。不法投棄につきましては、組織市町村の環境課等で行っている。担当ではないのではっきりしたことは申し上げられないが、管理はしているはずだ。

[質問]

そのサンプルの3種類のもは、最終処分場の中では混ぜて埋め立てますか。

[回答]

最終処分場に持っていくのは飛灰を固化した固化灰と、みなさんの家庭から出た茶碗やビンなど、全部一緒にして埋め立てる。